

日勤救急隊の本格運用について

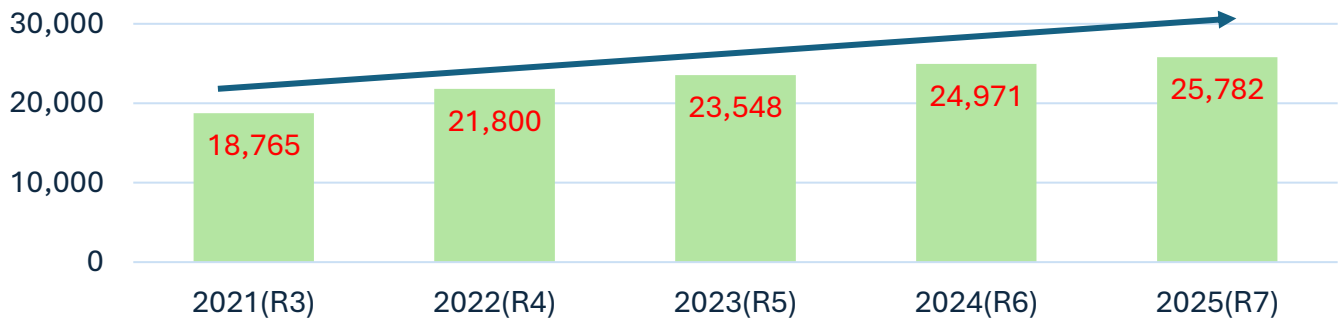
1. これまでの経緯

救急出動要請の約6割が日中(午前8時～午後6時)に集中していることから、特に昼間人口が多い中心市街地を抱える中央消防署管内における救急体制の強化を目指し、令和6年10月から日勤救急隊の試験運用を行ってきました。

日常業務と兼務しながら救急要請時に出動する体制のもと、より効率的・効果的な運用に向けて編成人員や待機拠点の最適化を順次進め、10月からの本格運用に向けた体制を整備しました。



2. 過去5年間の救急出動件数の推移



3. 9時～15時(6時間)の出動件数

	令和7年	令和8年
大分市全域	9,604	5,931
中央署本署管内	2,534	1,646

※令和8年の数字は8月末時点の数字です。

4. これまでの日勤救急隊の出動実績

令和7年	令和8年
468	418

※令和8年の数字は8月末時点の数字です。

※令和6年(10月～12月)の出動実績は66件。

5. 試験運用で得られた評価

現場到着平均時間	
運用時間帯	約8.26分
運用時間帯以外	約8.49分
短縮時間(秒)	約13.8秒



一分一秒を争う
救急現場では
効果あり！！

6. 運用概要

運用開始日 : 10月1日
 運用時間帯 : 平日午前9時～午後3時
 (土日・祝日、年末年始を除く)
 運用車両 : 中央救急7号車
 配置場所 : 中央消防署(舞鶴町)
 編成人員 : 救急救命課職員3名

※ 日勤救急隊の発隊式を以下のとおり行います。
 日時 : 10月1日(木)午前10時30分～
 場所 : 大分市中央消防署(舞鶴町)



7. 期待される効果

昼間時間帯に救急隊を1隊増隊することで、現場到着時間の短縮が見込まれ、中央署本署管内に隣接するエリアの救急隊の負担軽減や地域の救急空白地帯の解消が図られます。

これにより、救急需要への迅速な対応が可能となり、市民のより安全・安心な暮らしに繋がる事が期待されます。